



## 結婚して夜型の研究者生活が一変。 子どもができて価値観が変わりました。

### 濱渦 康範 Yasunori Hamauzu

学術研究院准教授（農学系）

大阪府立大学農学部卒業。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程を修了し農学博士の学位取得。信州大学農学部助手を経て、2007年より現職。

#### My Life Story

大阪出身。大阪府立大学博士課程で園芸利用の研究修了後、恩師のアドバイスで信州大学農学部助手として赴任する。7年間はキャンパス内の官舎、その後アパート暮らしという長い独身生活を経てつい結婚。現在は妻と2歳の長男の3人家族。妻も農学部の技能補佐員として勤務。



国際学会を利用して家族で渡航。小さいうちから国際感覚を身につけさせたい。海外経験豊富な妻が力強い味方です。



実験材料でお世話になっている。知り合いの農家さん宅で収穫体験。



お庭での野菜づくりに、一緒に種まき。自然農法による食育を2歳から。



### 子どもができて生活も 考え方も大変化

結婚して子どもができて、私の生活は劇的に変わりました。考え方も大きく変わってきました。

生活面では、以前は夕方5時頃から自分の時間で、論文を書いたり、いろいろ考えたりする時間で、8時から12時くらいがノッていたんです。結婚してからはさすがにそういう帰り方はできないので、早く帰りたいと思って家に帰る努力をしています。

研究内容も、果実・野菜の有用成分の化学分析など生産物の評価のみをベースに考えており、生産現場にあまり目を向けていませんでしたが、子どもができてからは、自然農法などに関心が移ってきました。子どもって手当たりしだいに口に入れるでしょう。そういうのを見ていると、子どもの口に入れさせたくないものの健康有益性を評価しても矛盾ですし、食の安全安心に興味に向くようになってきました。これは大きな変化ですね。

独身時代は子どもより猫のほうが好きだったぐらいで、子どもがあまり好きじゃなかったのですが、自分の子ども

ができてから世界が変わりました。本当にかわいいんです。他所の子どもを見る目も変わってきました。

### 「親族共同参画」で 子育て真っ最中!

子育てでは、やっぱりお母さんに代わることはできません。僕にできるのは、お風呂に入れたり、休日に遊んだり、あとは保育園につれていくぐらいです。妻も働いているので、大変なときには妻の実家のお母さんに長野から来てもらっています。ほんとに助けてもらっています。男女共同参画といいますが、わが家の場合「親族共同参画」ですね。夫婦二人だけで育てるなんて無理だと思います。親が健康でいてくれることに感謝です。

子どもって、自分の鏡みたいなのがあって、自分が持つ嫌なところがそっくり似てるんですね。うちの子どもは2歳なのに理屈っぽくて、先日もお箸の持ち方を注意したら「まだ小さいからね～」と言いつけられました。そういえば、私の母も、父のことを理屈っぽく言っていたなあ、ということ思い出して、こういうところが遺伝子で受け継

がれちゃうんだな、と思いました。

とにかく、結婚と子どもの誕生で、私のものの見方や生き方はガラッと大きく変わりました。よく、夫のことを大黒柱なんて言いますが、わが家では嫁さんが「御柱」だね、と言っています。お互いを認め、子どもから学び、周りの助けに支えられながら、なんとかうちの家族は回っている。ときどきは爆発しそうになるけれど、そういうことも含めて、家族の暮らしは面白いですね。

